

救急外来で腸閉塞を疑った 際の対応

2024/10/24 ショートレクチャー
消化器内科 後藤 収

Q.もし救急外来で腸閉塞を疑う方が来たら
あなたはどんな診察、検査をしますか？

例えば、80歳男性、突然の腹痛、嘔吐で受診。少量の食事摂取
でも嘔吐しますという方が来た場合なにをしますか？

→急性腸炎？腸閉塞？悪性腫瘍？あるいはその他？

この情報だけでは鑑別は多岐にわたると思います。

1.問診

急性腸炎と**腸閉塞**、どちらも鑑別に挙がる場合
問診の段階で聞きたいことは

下痢の有無と手術歴の有無

腸閉塞の場合、文字通り腸管が閉塞しているため基本的には
排ガス、排便がないことがほとんどです。

一方で**急性腸炎の場合、多くは下痢を起こすことが多く、また血便を伴うこともあります。**

そして腸閉塞の場合、原因として多いのが**術後の癒着性腸閉塞**
になります。そのため**腹部手術の既往の有無**は重要な情報になります。

2.採血

採血のデータのみで鑑別することは困難ですが、腸閉塞の非特異的なデータとして**炎症反応の軽度上昇、脱水所見とそれによる腎機能障害**を呈することがあります。

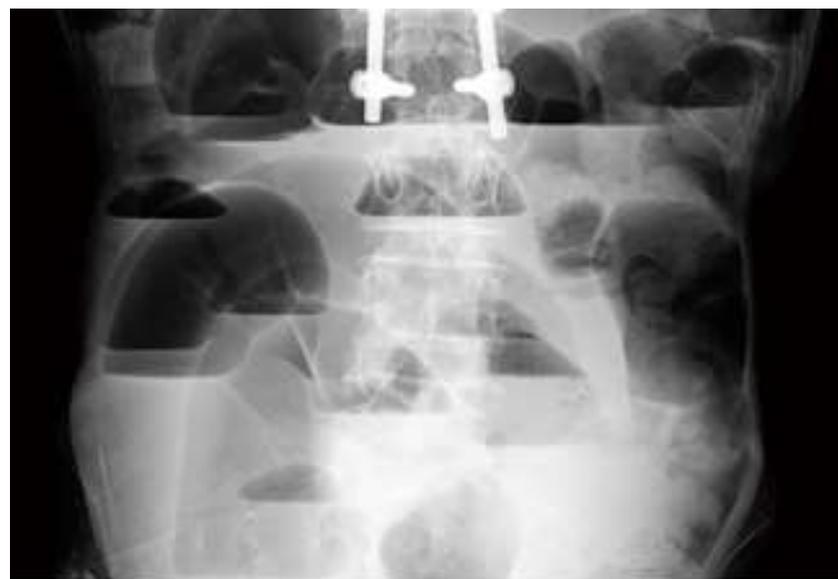
ただし**腸管虚血を伴うような緊急性の高い腸閉塞**の場合、**炎症反応上昇が高度であったり、血液ガスでアシドーシスに傾いている**こともあります。

3.画像検査①

腸閉塞を疑うとまずオーダーとして
腹部単純X線写真をいれることが多いと思います。

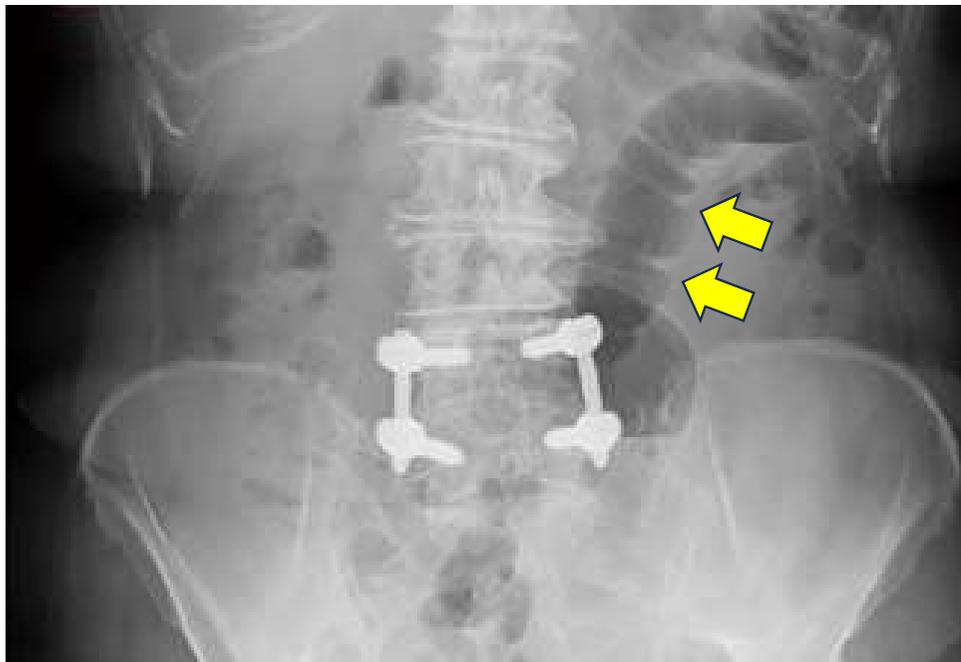
**Niveauの有無
が重要なことは有名ですが**

貯留しているガスが
小腸ガスなのか？
大腸ガスなのか？
も実は重要です。



1.日本医事新報社 No.5126 2022.07.23

癒着性腸閉塞の多くは小腸型であり、
Niveauを呈しているガスの多くが小腸ガスであれば
癒着性腸閉塞や内ヘルニアを疑う根拠になります。



*左の写真のように、kerckring襻があるかどうかで小腸ガスか大腸ガスかどうかを評価することが可能です。

黄色矢印:kerckring襻

4.画像検査②

いざ腸閉塞を疑ってCTをオーダーするとなった場合
基本的には造影CTが必要です(腎機能障害や喘息などの禁忌がある場合を除く)。

その理由として、**救急外来で診断する必要があるのは腸閉塞かどうかではなく、外科的治療、あるいは内視鏡的治療が必要な緊急性のある腸閉塞かどうかであるため**です。

CTを見て腸閉塞かどうか診断 →

画像が特徴的のため
比較的容易

CTをみて緊急性の高い腸閉塞かどうかを診断



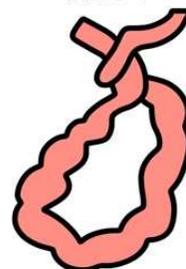
腸管虚血に特徴的なCT所見や絞扼性腸閉塞で特徴的な所見を理解する必要がある

緊急性の高い腸閉塞のCT所見

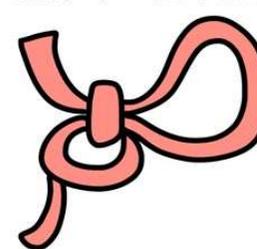
- ◆腹水が出現している。
- ◆腸管壁の造影効果が落ちている
- ◆Closed loopを形成している。
- ◆Whirl signを呈している。

複雑性腸閉塞

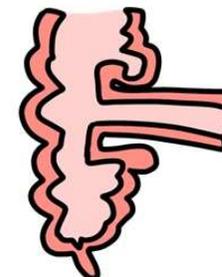
腸捻転



小腸系蹄の結節形成



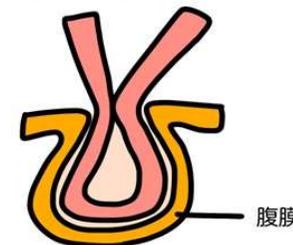
腸重積症



策状物などによる絞扼



嵌頓ヘルニア



画像：腸閉塞 - 吉田病院 (yoshidahp.jp)

上記に加えて腹膜刺激症状を呈している場合には絞扼性腸閉塞の可能性ががあります。

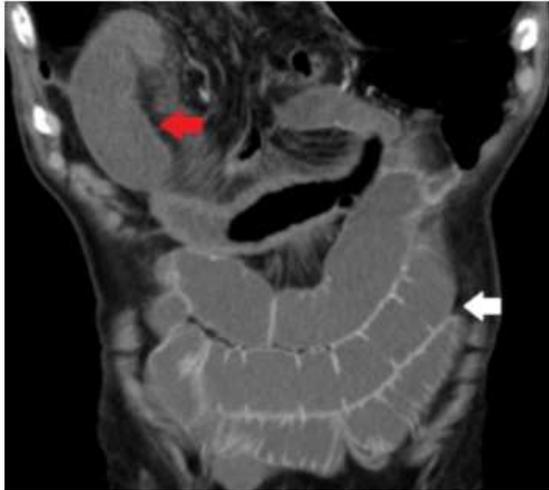


Figure 1 67歳 女性

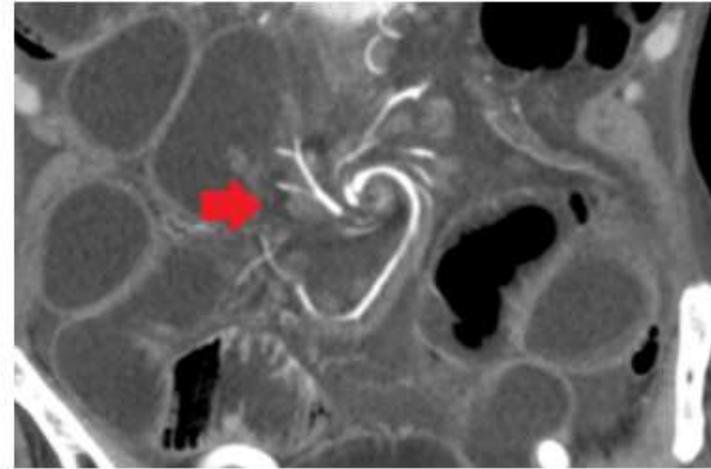


Figure 7 86歳 男性

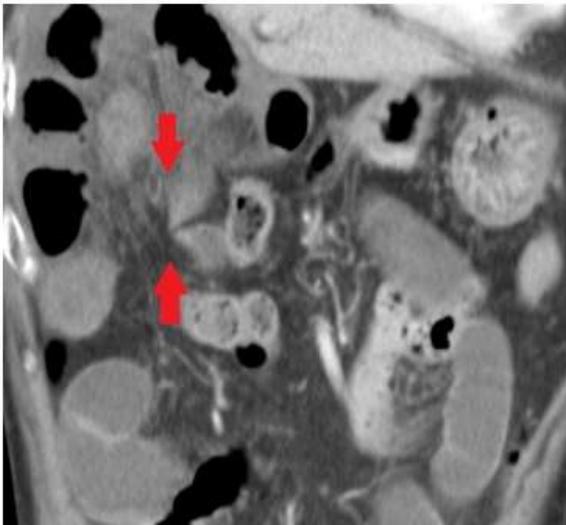


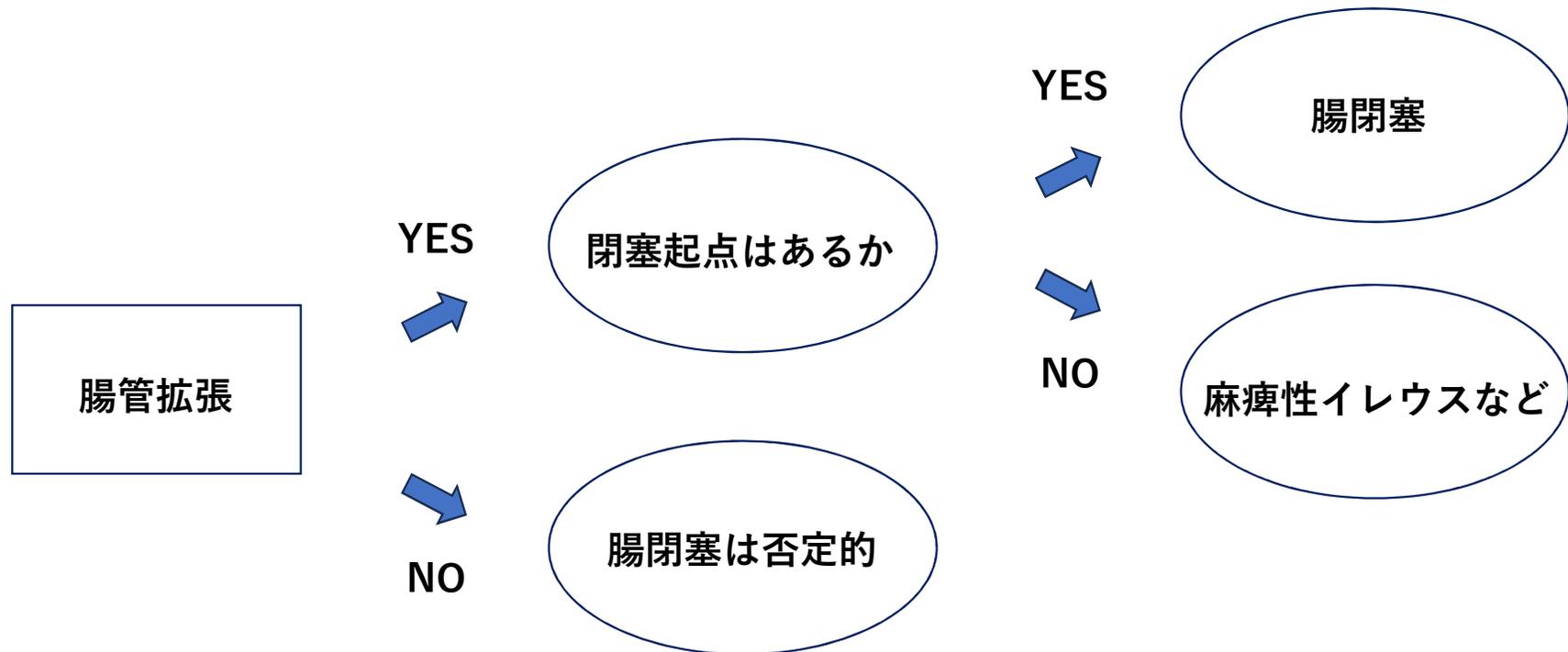
Figure 3 93歳 男性

3枚とも絞扼性腸閉塞の画像になります。
Figure1では腸管壁の造影不良
Figure3ではclosed loopを形成

Figure7のCT像ではwhirl signに加え
腹水の出現、腸管造影効果の減弱もあり
絞扼性腸閉塞の可能性を強く示唆しています。

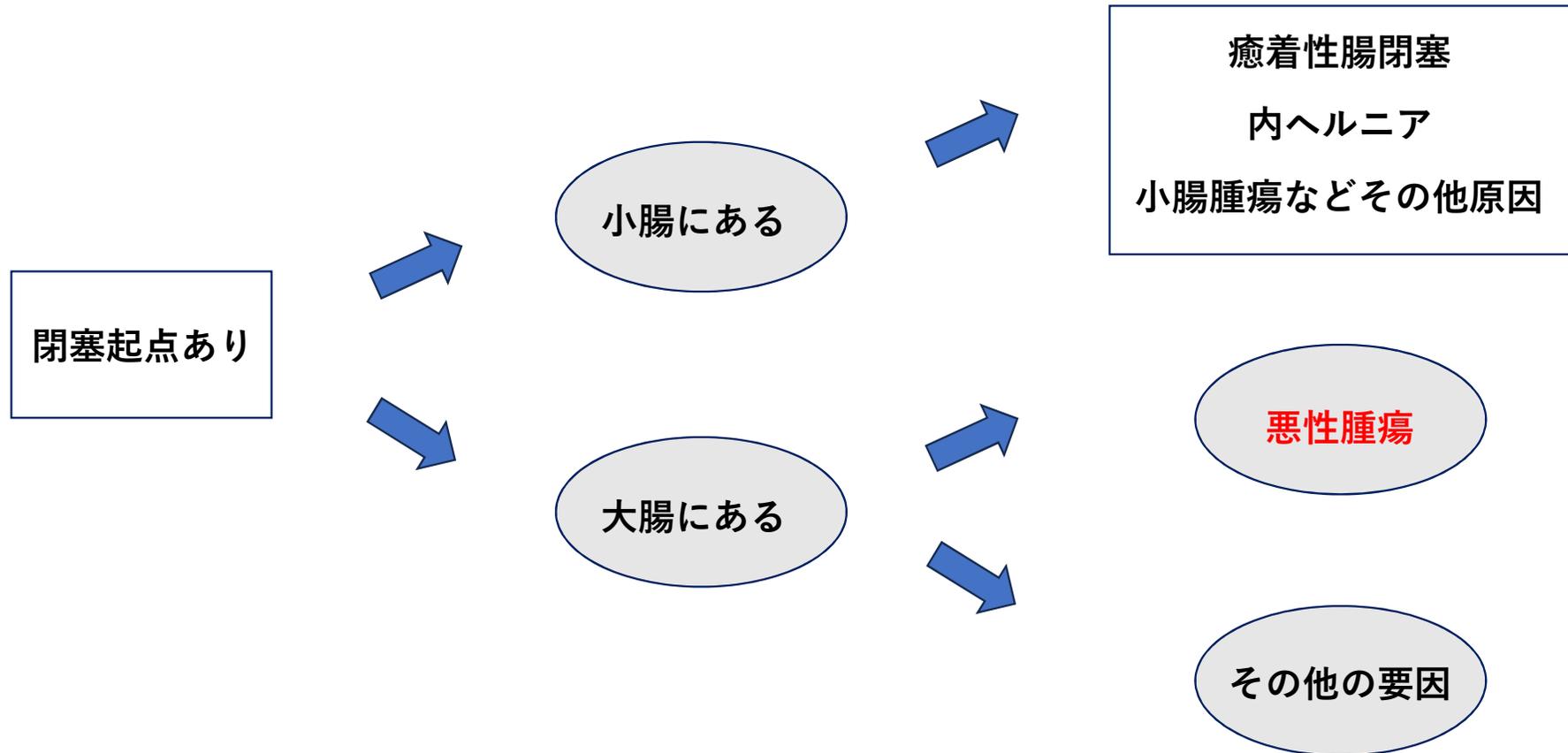
画像：横浜栄共済病院放射線科：ラジオロジーアットホーム

5. 診断フローチャート①



- ◆ 閉塞起点の有無はCTで拡張した腸管を連続的に追っていくことで判断します。
- ◆ 研修医の先生は日ごろから腸閉塞の患者さんのCT画像を追う練習をしておくといいと思います。
- ◆ 水平断で追いづらいときは冠状断にするとやや追いやすくなります。
- ◆ 糞便徴候、beak signなどを目安に閉塞起点を探してみてください。

6.診断フローチャート②



*あくまで簡易的に作成したチャートであり例外はあります。

Take Home Message

- ◆腸閉塞かどうかの診断以上に緊急性の高い腸閉塞かどうかの診断が重要です。
- ◆閉塞起点を見つけるには日ごろからCT画像を追う練習が必要です。